

## カテゴリー

---

神経系

## タイトル

---

脳卒中患者における睡眠と運動学習

引用文献

Sleep to learn after stroke: Implicit and explicit off-line motor learning

🔗PubMed Sienqsukon, C. F. Neurosciences Letters. 2009 Feb 13;451(1):1-5.

## なぜこの論文を読もうと思ったのか？

- ・知識の定着に睡眠が必要と言われるが、運動学習においても睡眠が重要であると述べられており、興味深かったため。

## 内 容

### 目 的

- ・運動学習における睡眠の役割を明確にする。

## 方 法

- ・脳卒中患者 40 名と健常成人 40 名

・課題はパソコン上に映し出される波線をジョイスティックでなぞり、正確になぞれたかを記録する。

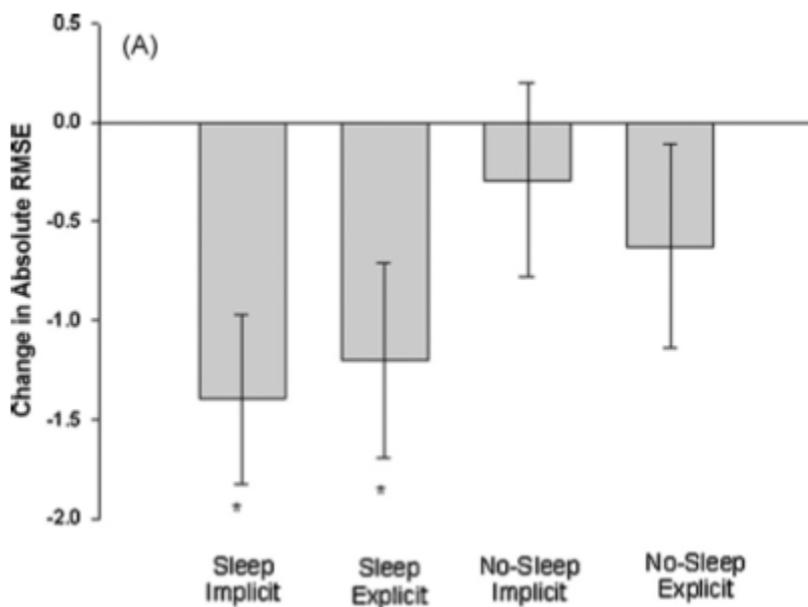
・実験プロトコル

①課題 10 セッション（練習とベースライン計測として）

②12 時間の休憩（睡眠群と非睡眠群に分かれる）

③課題（運動学習の効果が残存しているか評価）

## 結 果



図：睡眠群と非睡眠群の誤差率の変化（Sienqsukon, C. F. 2009 より引用）

※マイナスが大きいほどベースラインよりも減少したということ。縦軸は誤差率の変化、左二つの棒グラフが睡眠群、右二つが非睡眠群。

・睡眠群の方が非睡眠群に比し有意に誤差率が減っている。

## 論文背景や興味深かったこと

---

- ・ 先行研究で健常若年成人に対し、睡眠と運動学習の関連性が証明されているが、脳卒中患者では運動学習における睡眠の役割は不明確である。
- ・ 本研究は脳卒中患者において、睡眠が運動学習促進の一要因であることを示唆している。
- ・ 睡眠と運動学習がどう関連しているかは記載がなく、これからの研究対象であると思われる。

## 明日への臨床アイデア

- ・ 臨床にて睡眠がうまく取れていない患者様も多い。運動学習を促進するため、睡眠の評価も必要ではないか。